土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川瀬野川水系熊野川支川1外砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託

事業・工事名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R3-1	調査位置	広島県安芸郡熊野町　地内(堀之谷川)	北緯	34° 21′ 25.3313″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和3年 8月 3日～ 令和3年 8月10日	東経	132° 35′ 03.8390″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 298.50m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	0北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	5° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：YBM　YSO-1HA型
				エンジン	ヤンマー　NFD-13EK型
				ポンプ	吉田鉄工所　YBM　GP-5型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4	293.50	5.00		玉石混り砂礫		褐	rd4		渓床堆積物 ・更新世後期崖錐堆積物 ・玉石は確認石長L=10-30cm程度が混入 ・礫はφ75mm程度以下の円磨度乏しい中-粗礫から成る ・基岩同質または花崗岩質の堅硬な礫-玉石が主体を成し、場所的にクサリレキ及び風化岩塊を含む ・礫間を充填する基質は中-粗粒砂であり細粒分ならびにφ10mm程度以下の細礫-鉱物片を伴い粒度不均一 ・GL-3.50m付近より、少量(0.5L/min)漏水	8/5 0.55 8/6 3.27
5	293.50	5.00		花崗閃緑岩		褐			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩強風化岩 ・風化漸移帯であり、岩質は軟質化 ・採取試料は岩芯を残す土柱状を呈す ・岩級区分はDH級(軟岩Ⅰ)に分級される	
6	293.00	5.50		花崗閃緑岩		褐				
7	291.40	7.10		花崗閃緑岩		黄			中粒-角閃石黒雲母花弱崗閃緑岩 ・岩級区分はCL級(軟岩Ⅰ)に分級される ・岩質やや軟質化、黄灰色を薄く帯びる	
8	289.50	9.00		花崗閃緑岩		灰			中粒-角閃石黒雲母花崗閃緑岩 ・岩級区分はCM級(軟岩Ⅱ)に分級される ・コア肌はやや粗面-滑らかでありハンマーの打撃ではやや鈍い金属音を発する ・岩質は概ね新鮮かつ非常に堅硬、採取試料は長柱状-棒状を呈す ・全体に優白色を示し岩相やや不均質な花崗閃緑岩	
9 10 11 12 13 14										

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
20	1.15	6	6	8	20/300		
50以上	1.45						
	2.15	12	20	18	50/280	280	
	2.43			80			
24	3.15	7	7	10	24/300		
	3.45						
23	4.15	6	8	9	23/300		
	4.45						
50以上	5.15	30	20		50/130	130	
	5.28		30				
50以上	6.00	50			50/50	50	
	6.05	50			50/50		
50以上	7.00	50			50/40	40	
	7.04	40			40/0		
50以上	8.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法

室内試験

削孔月日：8/4　8/5